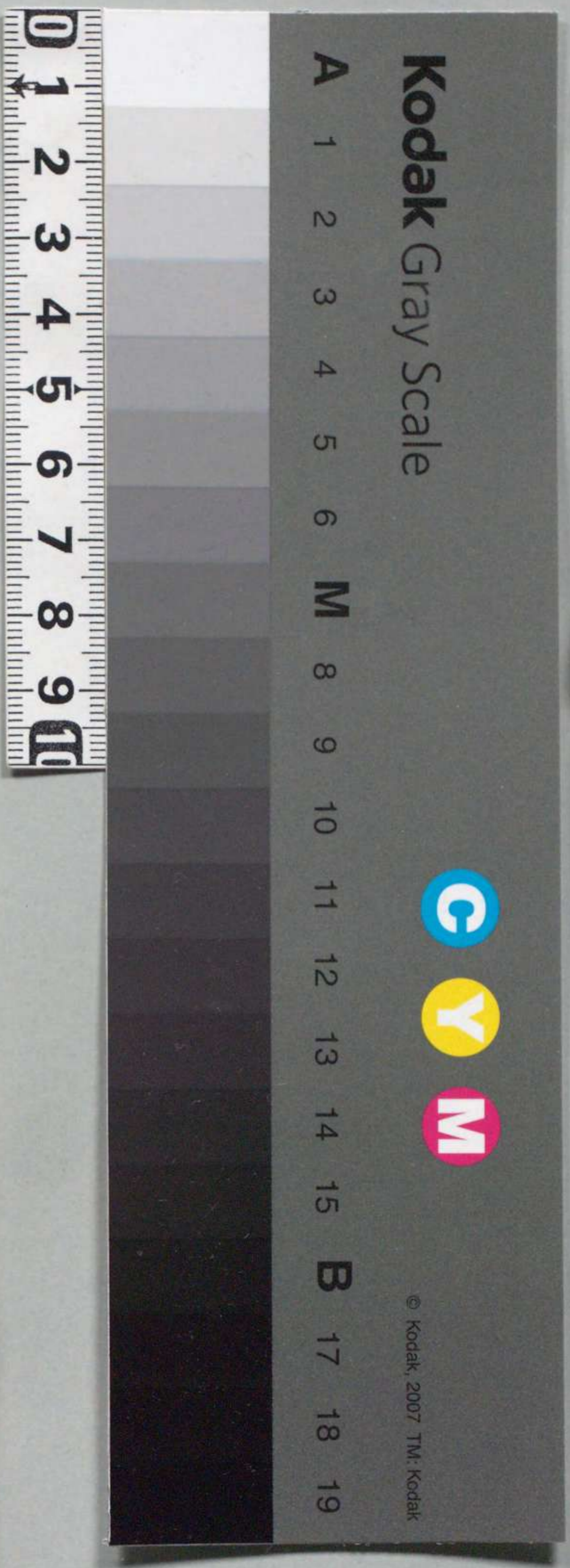
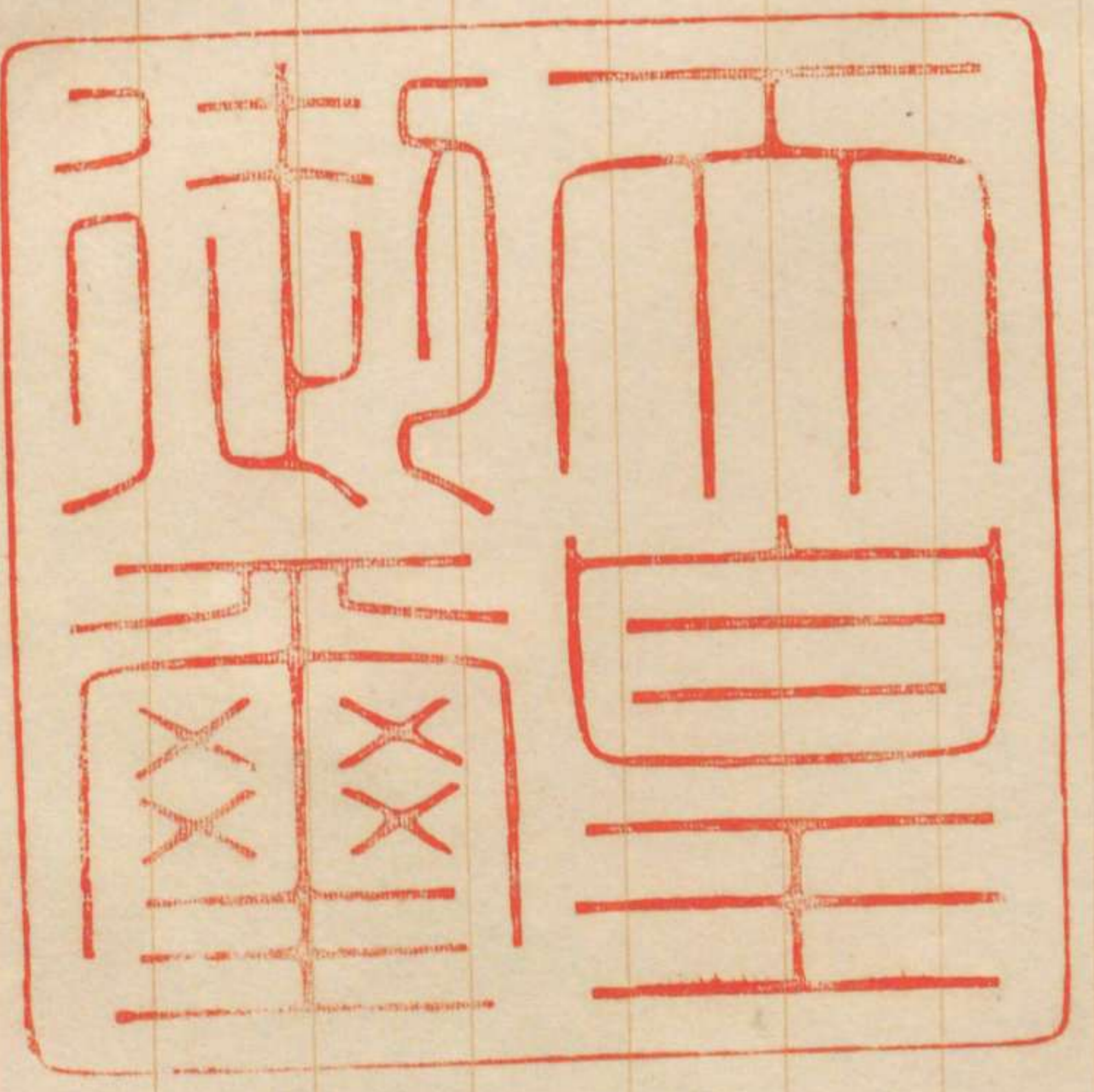


初身之十号



朕陸軍砲工學校條例改正ノ件ヲ裁可シ  
茲ニ之ヲ公布セシム

睦仁



明治二十九年五月十五日

陸軍大臣侯爵 大山巖

勅令第二百十號

陸軍砲工學校條例

第一條 陸軍砲工學校ハ學生ニ砲工兵各科ノ勤務ニ必要ナル學術ヲ教授スル所トス

第二條 學生ハ砲工兵科ノ少尉ヲ以テ之ニ充テ砲工兵隊及鐵道隊ヨリ分遣セシム

第三條 本校ニ左ノ職員ヲ置ク  
校長  
少將大佐

副官

大中尉

教官

中少佐大尉

教授

馬術教官

大尉

軍醫

獸醫

軍吏

下士、陸軍屬及陸軍技手

第四條

校長ハ監軍ニ隸シ校務ヲ總理

シ學生教育ノ責ニ任ス而シテ各科專

門ノ教育ニ関シテハ當該兵監ノ區處

ヲ受ク

第五條

副官ハ校中一般ノ庶務ヲ掌ル

第六條

教官ハ各學術科ノ授業ヲ分擔

ス

第七條

教授ハ各普通學科ノ授業ヲ分

擔ス

第八條

馬術教官ハ學生ノ馬術訓練ニ

任シ兼テ校廐一切ノ事ヲ統ヘ馬匹ノ

調教ヲ掌ル

第九條 學生修學期ハ概ネ一箇年半トス

第十條 前條修學ヲ終リタル學生中ヨリ各兵科毎ニ約三分一ノ人員ヲ撰拔シ更ニ一箇年間在學セシメ尚須要ナル學術ヲ修メシム

第十一條 學生ノ人員及入校時日ハ其時々監軍之ヲ定メ陸軍大臣之ヲ告達ス

第十二條 學生分遣ノ告達アレハ隊長

ハ入校期ト  
寫ヲ添ヘテ

ハ籍寫ニ考科表  
長ニ送達スヘシ

第十三條 學生

ニ居住セシメ修

學ニ所要ノ書籍器  
ハ支給スルコトアル

具耗品ハ償與又

第十四條 學生中ノ願居  
スル諸件ハ總テ校長ノ管理ニ屬ス

地業務ニ関

第十五條 學生ハ情願ヲ以テ歸省又ハ

退校スルヲ許サス

第十六條 學生中疾病事故ニ依リ學期



第九條 學生修學期ハ概ネ一箇年半トス

第十條 前條修學ヲ終リタル學生中ヨリ各兵科毎ニ約三分一ノ人員ヲ撰拔シ更ニ一箇年間在學セシメ尚須要ナル學術ヲ修メシム

第十一條 學生ノ及入校時日ハ其時々監軍之ヲ定メ陸軍大臣之ヲ告達ス

第十二條 告達アレハ隊長



ハ入校期十日前ニ其兵籍寫ニ考科表寫ヲ添ヘテ砲工學校長ニ送達スヘシ

第十三條 學生ハ校外ニ居住セシメ修學ニ所要ノ書籍器具消耗品ハ貸與又ハ支給スルコトアルヘシ

第十四條 學生中ノ願屆其他業務ニ関スル諸件ハ總テ校長ノ管理ニ屬ス

第十五條 學生ハ情願ヲ以テ歸省又ハ退校スルヲ許サス

第十六條 學生中疾病事故ニ依リ學期

内ニ所定ノ學術ヲ修メ得サル者又ハ卒業試験ニ落第シタル者ハ猶滞學ヲ命スルコトアルハシ

第十七條 校長ハ修學期末ニ於テ學生ノ卒業試験ヲ施行シ各教官ヲ集メ會議ヲ開キ修學ノ成績ヲ調査シ列序ヲ定メ考科表ヲ製シ監軍ニ進達シ其認可ヲ得テ教育課程卒業ノ證書ヲ附誌ス

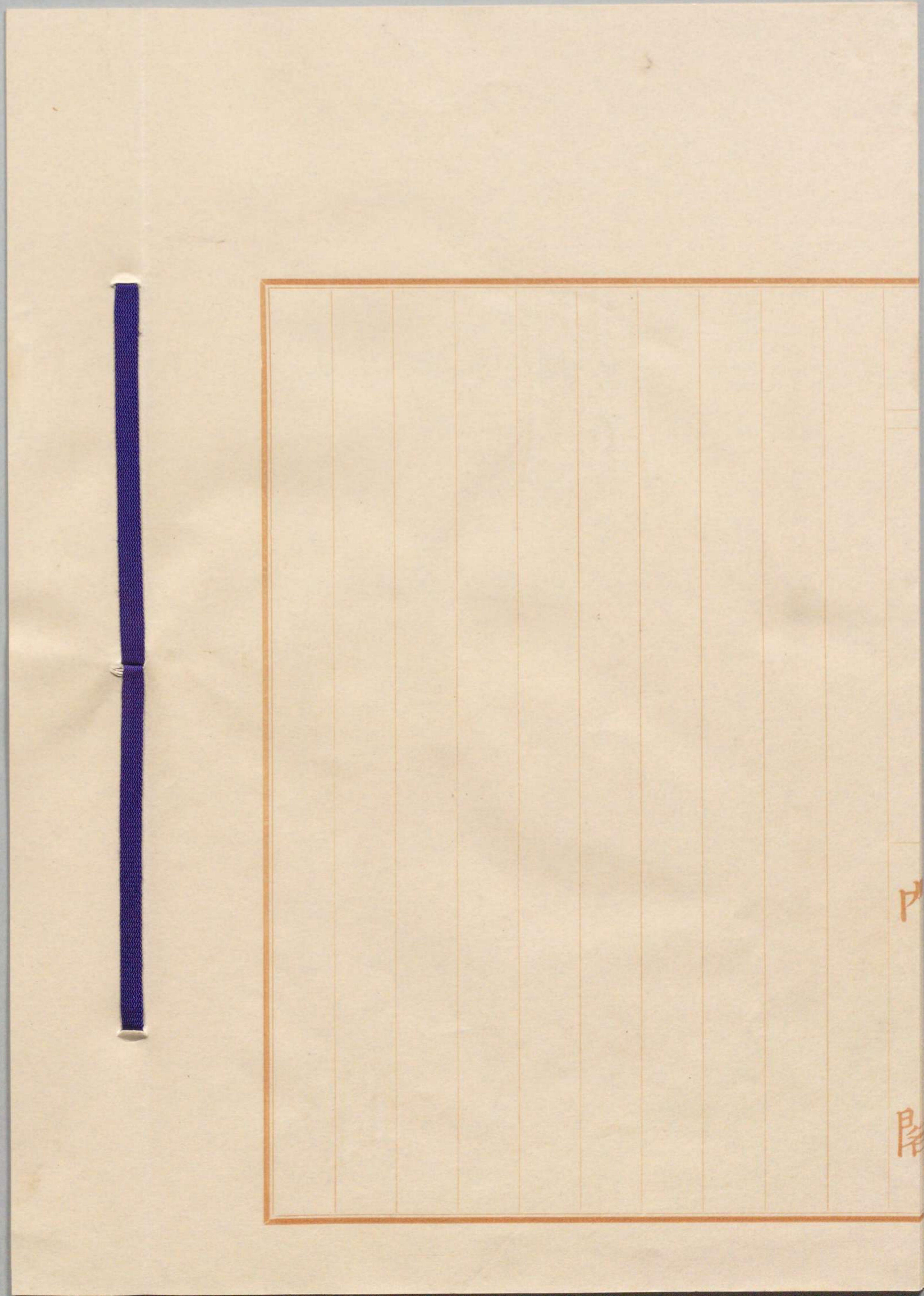
第十八條 滞學ヲ命レタル學生修學ヲ

終レハ前條ニ準シ卒業證書ヲ附與ス  
第十九條 毎年學生ニ凡三週間ノ復期休暇ヲ與フルコトヲ得

第二十條 教官ハ教育上便宜ノ時期ニ於テ隊附勤務ヲナサシムルコトアルハシ

附則

第二十一條 當分ノ内第九條ノ年限ヲ一箇年ニ短縮スルコトヲ得



内

降